

保育サマーフェスタの開催



この事例のポイント

- ・ 学生が主体となって企画・準備・運営などを行う保育就職説明会を開催しました。
- ・ 学生で組織する実行委員会が、あらかじめ参加する園・施設の保育の実際を取材し、動画を含む園・施設の紹介用コンテンツを作成し、求人票等も提示します。
- ・ サマーフェスタ当日は、学生や保育事業者とともに、保育職に興味のある高校生、保護者も参加しました。

この取組を行った背景や目的

従来の保育就職説明会は、業者主催で給与や「楽な仕事」といった保育労働の条件面の話が中心で、保育の理念や内容・実践等について語られることが少ないと感じていました。こうしたことから、近年の保育職へのネガティブ・イメージを払拭し、「保育の魅力」や「保育職の働き方」についての適切な理解を広めたいという思いがありました。

今回、学生主体で「保育の魅力」とその本質を発信することを通して、学生自身の学びの深まり、保育現場との連携強化、高校生や保護者等の保育への理解促進が目指しました。

実施した内容① 学生実行委員会の組織

対象:子ども支援学科3年生、4年生から募った結果、約20名が学生実行委員となりました。
方法:学生が主体となって、企画、運営、園・施設の選定、取材、動画コンテンツの作成や求人票の収集などのいっさいを行いました。

内容:企画・運営:園・施設の選定、アポイントメント取得、現場取材、動画制作、説明会の企画・運営までの一連のプロセスを学生主体で実施しました。

園・施設への取材・紹介用コンテンツの制作:学生実行委員が分担し、参加する22の園・施設を訪問し、園長や大学のOGへのインタビューを実施しました。取材・調査結果に基づき、1法人あたり約5分間の動画を含む紹介用コンテンツを作成します。動画には園の保育理念や方針、こだわっているポイント、求める人材像などが盛り込まれました。

実施した内容② 保育サマーフェスタの実施

対象:22の園・施設が参加

子ども支援学科3年生、4年生は全員参加(授業の一環として位置付け)、1・2年生は任意参加、保育職に興味のある高校生とその保護者も参加しました。

方法:大学(狭山キャンパス)の体育館にて開催

午後1時半から午後5時までの3時間半にわたり、いくつかのセッションを区切って実施されました。当日は学生実行委員長を中心に、学生がステージ上で運営指示を出すなど、学生主体の運営が行われました。

内容:事前学習として、参加学生は作成されたすべての園・施設の紹介用コンテンツを視聴し、求人票などもあらかじめ確認します。その上で、当日は話を聞きたい園・施設のブース(最大6ブース)を訪ねました。



実施した内容③ 保育サマーフェスタの成果から今後に向けて

参加した学生の様子:保育の魅力を深く感じ、「この道を選んで間違いなかった」という肯定的な感想をもつ学生が多くいました。また、一部の園・施設に偏ることなく、各ブースにバランス良く学生が訪問していました。

園・施設からの評価:参加園・施設からは「次もぜひやってほしい」「学生との繋がりを今後もちたい」といった声が多く寄せられました。

参加した高校生の様子:少数ながら参加した高校生は、後日、オープンキャンパスに参加するなど、大学への関心、保育の理解につながりました。



実践するためのヒント

○成功や継続するためのポイントや要因

・学生の主体性の尊重

学生が企画・運営など主体的に取り組めるように、教員は園・施設への依頼書や同意書の作成、紹介用コンテンツの統一化や質の確保、倫理的配慮の確認など、実施の手続きや専門的な指導(どうしても学生では対応が困難なこと)を裏方として行います。

・保育の「質」と「魅力」にフォーカス

単なる求人情報だけでなく、各施設の保育理念やこだわり、現場の実態に焦点を当てた紹介用コンテンツを作成し、保育の深い魅力を発信するように心がけました。

・多様な施設の参加

保育園や幼稚園だけでなく、児童養護施設や障害児施設など、多様な保育・福祉施設が参加し、学生の就職先の選択肢や保育の多様性を示せるようにしました。

○実施体制:取組にかかった組織、費用

学生実行委員約20名と担当教員数名が中心となって実施

費用は、参加施設からの費用徴収はゼロ。大学側は資料郵送費、印刷費用などのみ負担

○今後の取り組みの方向性

- ・中高生へのアプローチの拡大:中学・高校の年間行事計画に組み込めるように、早期から開催案内を行い、連携してより多くの中・高校生や保護者、教員が参加できる体制を構築
- ・連携施設の拡大と関係性強化:今回築いた良好な関係を活かし、参加園・施設の増加
- ・就職/採用のみならず、ボランティア・アルバイト等の実践参画機会の拡大化と、保育現場の現任者研修や学生研究の参加機会の拡大化